

1. 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2014年度のCO₂排出量は、電力や燃料の使用量に大きな変動がなかったため、2013年度と同程度となりました。また、HFC排出量は、2013年度より減少しましたが、依然として多いため、引き続き排出削減に努めていきます。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) >
 温室効果ガスの排出量の詳細実績 (グループ会社)

温室効果ガス排出量

単位：千トン-CO₂

	2012年度	2013年度	2014年度
CO ₂ (二酸化炭素) ^{※1}	150.0	152.5	149.5 ^{※2}
CH ₄ (メタン) ^{※1}	0.1	0.1	0.1
N ₂ O (一酸化二窒素) ^{※1}	0.0	0.0	0.0
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	36.0	115.3	87.6
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF ₆ (六フッ化硫黄)	0.0	0.0	0.0
合計	186.1	267.8	237.2

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

※1：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料の燃焼に伴う排出量)を除く。

※2：当社の2014年度の販売電力量あたりのCO₂排出量(CO₂排出クレジット等反映後)を使用して算定。

各種エネルギー使用量

		単位	2012年度		2013年度		2014年度		
			会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量	
電力	オフィス	百万kWh	41	24.0	41	25.5	42	23.5	
	工場等	百万kWh	33	182.8	33	178.8	33	181.1	
燃料	車両等 ガソリン等	千ℓ	44	6.6	44	6.8	45	6.9	
	冷暖房用	千ℓ	8	0.1	7	0.1	7	0.1	
	工業用 [※]	A重油等	千ℓ	12	1.3	12	1.3	12	1.2
		LNG、LPG	千トン	7	1.3	7	1.2	7	1.2
熱	蒸気等	百万MJ	3	33.2	3	38.4	3	42.4	

※：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料)を除く。

再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています

国産エネルギーの有効活用、並びに地球温暖化対策面で優れた電源であることから、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています。

グループ各社のうち15社が太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの設備を導入しており、再生可能エネルギー設備の工事施工や設計業務に関わるグループ会社を含めると、20社が設備導入や開発に携わっています。

(株)九電工と九電みらいエナジー(株)は、地元企業を含む他3社と共同で「合同会社レナトス相馬ソーラーパーク」を設立し、最大出力52,452kWの大規模太陽光発電所(メガソーラー)の建設を進めています。東日本大震災の津波で被災し、塩害により農作が困難になった同市磯部地区の土地を活用して、2017年6月の運転開始を目指します。本事業を推進するにあたっては、地域への貢献策として、発電事業における収益の一部を地域の農業振興のために寄付したり、保守・メンテナンス業務の委託による地元での雇用の創出などを予定しています。



メガソーラー(福島県相馬市)の完成イメージ

用語集をご覧ください

- >> 地球環境問題
- >> N₂O(一酸化二窒素)
- >> LPG(液化石油ガス)
- >> 温室効果ガス
- >> PFC(パーフルオロカーボン)
- >> 地球温暖化
- >> エコドライブ
- >> SF₆(六フッ化硫黄)
- >> 再生可能エネルギー
- >> HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- >> CO₂排出クレジット
- >> バイオマス
- >> CH₄(メタン)
- >> LNG(液化天然ガス)
- >> メガソーラー

[設備導入状況]

項目	会社数	総設備容量[kW]
太陽光発電	10	63,152
風力発電	3	64,390
バイオマス発電	1	11,350
廃棄物発電	1	29,200
合計	15	168,092

[設備導入・開発に取り組む会社(青文字は設備導入会社)]

太陽光発電(12社)^{※1}

- 西日本プラント工業(株)
- 崇徳アスティ太陽光発電(株)
- (株)九電工
- 九電テクノシステムズ(株)
- 光洋電器工業(株)^{※2}
- (株)キューヘン^{※2}
- 誠新産業(株)
- 九電みらいエナジー(株)
- ニシム電子工業(株)^{※2}
- (株)電気ビル
- (株)キューデン・グッドライフ東福岡
- 九電不動産(株)^{※2}

風力発電(8社)^{※1}

- 西日本プラント工業(株)
- 藤尾岳風力発電(株)
- 奄美大島風力発電(株)
- 西日本技術開発(株)
- (株)九電工
- 九電みらいエナジー(株)
- 長尾ウインドヒル(株)
- 串間ウインドヒル(株)

バイオマス発電(4社)^{※1}

- 西日本プラント工業(株)
- (株)九電工
- 九電みらいエナジー(株)
- みやざきバイオマスリサイクル(株)

廃棄物発電(2社)

- 西日本プラント工業(株)
- (株)福岡クリーンエナジー

水力発電(2社)

- 西日本技術開発(株)
- 西技工業(株)

地熱発電(2社)

- 西日本プラント工業(株)
- 九電みらいエナジー(株)

※1：グループ会社の子会社を含む。
 ※2：九州電力の研究設備として設置。

温室効果ガスの排出抑制に貢献します

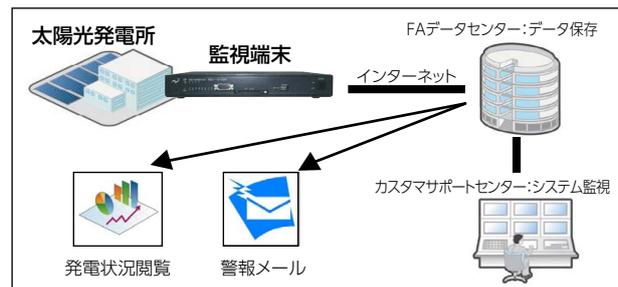
九電テクノシステムズ(株)は、電気自動車用の急速充電器やデマンドコントロール装置、MEMS(マンション・エネルギー・マネジメント・システム)などの製品・サービスを提供しており、電気自動車の普及、使用電力の平準化やマンションの電力使用量の見える化などを通じて、温室効果ガスの排出抑制に貢献していきます。

ニシム電子工業(株)では、太陽光発電事業者に代わって、発電状況の監視、実績の収集・保存や故障情報の通知などをインターネットを通じ遠隔で行うサービスを提供しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2 参照) >
 インフラ向け製品・サービス (九電テクノシステムズ(株))
 太陽光発電設備監視サービス (ニシム電子工業(株))



電気自動車用急速充電器
 (九電テクノシステムズ(株))



太陽光発電設備監視サービス(ニシム電子工業(株))

2. オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類の回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制にグループ一体となって取り組んでいます。

2014年度の保有量において、CFCが減少しHCFCが増加したのは、グループ会社1社が冷媒として使用していたCFCをHCFCに変更したためです。

オゾン層破壊物質保有量等

単位: kg

		2012年度		2013年度		2014年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	5	16,700	5	16,400	4	6,900
	排出量		700		300		0
HCFC	保有量	24	52,400	24	50,600	24	64,700
	排出量		400		600		1,400
ハロン	保有量	6	7,000	6	6,900	6	6,000
	排出量		0		0		0

単位: ODPkg

オゾン層破壊物質排出量 [※]	720	330	30
--------------------------	-----	-----	----

※: 各フロン類のオゾン層破壊係数ODP値を用いて、CFC-11重量相当に換算。

用語集をご覧ください

- >> バイオマス
- >> フロン
- >> オゾン層破壊物質
- >> デマンドコントロール装置
- >> CFC(クロロフルオロカーボン)
- >> オゾン層破壊係数
- >> MEMS(マンション・エネルギー・マネジメント・システム)
- >> HCFC
- >> CFC-11
- >> (ハイドロクロロフルオロカーボン)
- >> (トリクロロフルオロメタン)
- >> オゾン層
- >> ハロン